

引用文献

A 区. (2022). 令和 4 年度(2022 年度) A 区当初予算概要.

https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/kusei/004/001/001/d00005450_d/fil/4yosangaiyouan.pdf (2023/1/23 閲覧)

A 区. (2021). A ノーマライゼーションプラン A 区障害施策推進計画－《令和 3 年度～令和 5 年度》.

https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/fukushi/002/016/d00190798_d/fil/20.pdf(2023/1/20 閲覧)

青山 京子. (2018). 小児訪問看護に関する訪問看護師の困難 自由記述の分析. 修文大学紀要, 9, 25-33.

朝見 優子, 矢郷 哲志, 岡光 基子. (2023). 小児在宅療養における親とのパートナーシップに関する訪問看護師の実践 質的研究の文献検討. 日本看護科学学会誌, 43, 133-142. doi: 10.5630/jans.43.133

Ashley, C., Brown, A., Halcomb, E., & Peters, K. (2017a). Registered nurses transitioning from acute care to primary healthcare employment: A qualitative insight into nurses' experiences. *Journal of Clinical Nursing*, 27 (3-4), 661-668. doi: 10.1111/jocn.13984

Ashley, C., Halcomb, E., Brown, A., & Peters, K. (2017b). Experiences of registered nurses transitioning from employment in acute care to primary health care quantitative findings from a mixed-methods study. *Journal of Clinical Nursing*, 27(1-2), 355-362. doi: 10.1111/jocn.13930

Benner, P. (1984/2005). 井部俊子監訳. ベナー看護論 新訳版 初心者から達人へ. 医学書院.

Collins, A, J.S. Brown, A. Holum. (1991). Cognitive Apprenticeship. *Making Thinking Visible American Educator*, 6 (11), 38-46.

Cranton, P. (1992/2006). 入江直子・豊田千代子・三輪建二訳. 大人の学びを拓く 自己決定と意識変容をめざして. 鳳書房. pp27-35, pp148-199.

Foley, L., Avramidis, P., & Randall, S. (2021). New to the community setting: Nurses' experiences and the importance of orientation. *Australian Journal of Primary Health*, 27(1), 50-56. doi:10.1071/PY20129

- 郷 更織, 山田 真衣, 大久保 明子, 北村 千章. (2014). 新潟県の訪問看護ステーションにおける小児の訪問看護に関する実態調査. 新潟県立看護大学紀要, 3, 8-12.
- Greenhalgh T, Robert G, Macfarlane F, Bate P, Kyriakidou O. (2004). Diffusion of innovations in service organizations: systematic review and recommendations. *Milbank Q.* 82, 581-629. doi: 10.1111/j.0887-378X.
- Gustafson DH, Sainfort F, Eichler M, Adams L, Bisognano M, Steudel H. (2003). Developing and testing a model to predict outcomes of organizational change. *Health Serv Res.* 38, 751-776. doi: 10.1111/1475-6773.00143.
- 原 瑞恵. (2020). 障がいのある子どもと家族のケアに携わる多施設をつなぐ研修会の取り組み. 岩手県立大学看護学部紀要, 22, 25-31.
- Hartung, S. Q. (2005). Choosing home health as a specialty and successfully transitioning into home health nursing practice. *Home Health Care Management & Practice*, 17(5), 370-387. doi:10.1177/1084822304272944
- 晴城 薫, 深澤 広美. (2008). 重症心身障害児と生活する母親が在宅療養安定期に至るまでの体験 医療的ケアを受けて初めて退院する事例から. 日本看護学会論文集: 小児看護, (38), 308-310.
- 平元 東. (2017). 「健康状態の把握と体調変化の判断・評価」 第1章 重症心身障害・医療的ケア児者の基本知識、診察のポイント. 北住暎二, 口分田政夫, 逸見聡子(編). 重症心身障害/医療的ケア児者診療・看護実践マニュアル 改訂第2版. 診断と治療社. pp12-17.
- 菱田 一恵, 野崎 真奈美. (2020). 新人訪問看護師から中堅訪問看護師への成長にかかわる経験. 医療看護研究, 17 (1), 13-24.
- 市江 和子. (2008). 重症心身障害児施設に勤務する看護師の重症心身障害児・者の反応を理解し意思疎通が可能となるプロセス. 日本看護研究学会雑誌, 31 (1), 83-90.
- 市原 真穂. (2023). 「バイタルサイン」, 第Ⅲ章 障害をもつ子どもの成長・発達, ケアの基本がわかる重症心身障害児の看護, へるす出版. Pp70-82.
- 生田 まちよ. (2015). 超重症児の在宅移行に際し訪問看護師が抱える問題点. 小児保健研究, 74 (3), 467-473.

- 生田 まちよ, 宮里 邦子. (2013). 訪問看護師を対象にした在宅人工呼吸療法を行う障がい児の訪問看護研修プログラムの開発とその評価. 熊本大学医学部保健学科紀要, (9), 11-26.
- 石丸 敬子, 萬 弘子. (2005). プリセプターナースのためのコーチング教室 コーチングでプリセプティとの信頼関係を築く. ナースビーンズ, 7 (5), 427-431. リンク: <https://search.jamas.or.jp/link/ui/2005172032>
- Jarrín, O. F., Pouladi, F. A., & Madigan, E. A. (2019). International priorities for home care education, research, practice, and management: Qualitative content analysis. *Nurse Education Today*, 73, 83-87. doi:10.1016/j.nedt.2018.11.020
- 門間 智子, 西連寺 信枝. (2020). 茨城県南地域の小児訪問看護の実施状況と課題. 常磐看護学研究雑誌, 2, 21-29.
- 木下 康仁. (2014). M-GTA グラウンデッドセオリーアプローチの実践 質的研究への誘い. 弘文堂.
- 北住 映二. (2003). 重度心身障害児・者への支援; 乳幼児期の支援 医療ニーズの高い重症心身障害児の問題点と支援を中心に. 発達障害研究, 25 (3), 133-140.
- 北住 映二. (2017). 「合併障害の相互関連と、ライフサイクルにおける状態の変化」 第1章 重症心身障害・医療的ケア児者の基本知識、診察のポイント. 北住映二, 口分田政夫, 逸見聡子(編). 重症心身障害/医療的ケア児者診療・看護実践マニュアル 改訂第2版. 診断と治療社. pp10-11.
- 木内昌子. (2017). 「重症児者の訪問看護」 第3章 看護ケアなどのポイント, 重症心身障害/医療的ケア児者診療・看護実践マニュアル改訂第2版. 診断と治療社. pp294-298.
- 近藤 奈緒子, 豊田 まゆ美, 矢島 道子, 岡部 明子, 望月 洋子, 白倉 すみ江他, 田邊 三千世. (2013). 小児(重症心身障害児)への訪問看護ができる人材育成方略に関する検討 「訪問看護経験(支援)表」を活用した同行訪問による支援の評価. 日本看護学会論文集: 地域看護, (43), 107-110.
- Korthagen, F.A.J. (2001/2010). 武田信子監訳. 教師教育学 理論と実践をつなぐリアリスティック・アプローチ. 学文社, pp128-149.
- 越田 繁樹, 白坂 真紀. (2016). 滋賀県下の NICU 等を経て、医療的ケアを要する子どもの在宅医療調査. 近畿新生児研究会会誌, (24), 19-22.

Kotter JP, Schlesinger LA. (1979). "Choosing Strategies for Change." *Harvard Business Review*. 57(2), 106-14.

厚生労働省. (n.d.). 医療的ケア児について.

<https://www.mhlw.go.jp/content/000981371.pdf> (2023/12/05 閲覧)

厚生労働省. (2020). 厚生労働省令和元年度障害者総合福祉推進事業：医療的ケア児とその家族の生活実態調査報告書（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング 2020 年 3 月）.

<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/000653544.pdf>

厚生労働省. (2015). 平成 26 年度小児等在宅医療連携拠点事業最終報告書（国立成育医療研究センター 平成 27 年 3 月 31 日）. <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000103144.pdf> (2022/9/15 閲覧)

厚生労働省. (2017). 平成 29 年度医療的ケア児の地域支援体制構築に係る担当者合同会議：医政局地域医療計画課の小児等在宅医療に係る取組(厚生労働省医政局地域医療計画課在宅医療推進室 平成 29 年 10 月 16 日). <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12200000-Shakaiengokyokushougaihokenfukushibu/0000180994.pdf>(2022/9/24 閲覧)

厚生労働省. (2018). 平成 30 年度医療的ケア児の地域支援体制構築に係る担当者合同会議. https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000191192_00004.html(2022/10/4 閲覧)

熊平 美香. (2021). リフレクション 自分とチームの成長を加速させる内省の技術. ディスカヴァー・トゥエンティワン, pp73-75.

Luke DA, Calhoun A, Robichaux CB, Elliott MB, Moreland-Russell S.(2014). The Program Sustainability Assessment Tool: a new instrument for public health programs. *Prev Chronic Dis*. 2014 Jan 23;11:130184. doi: 10.5888/pcd11.130184.

前田 和子, 三木 明子. (2011). 他科から勤務異動した看護師が精神科看護に熟達する経験のプロセス. 日本精神保健看護学会誌, 20 (2), 1-10.

前垣 義弘, 玉崎 章子. (2019). 人材養成に対する鳥取大学の取り組み. 小児保健研究, 78 (1), 14-18.

丸山 幸恵, 後藤 順子, 叶谷 由佳. (2017). 訪問看護ステーションにおける訪問看護師の現任教育の実態と課題. 千葉科学大学紀要, (10), 101-108.

- 松本 康代, 下釜 聡子, 田口 敬代, 立石 容子. (2015). A 県における小児訪問看護受け入れの実態調査 過去 5 年の研修活動評価と今後の指針作成に向けて. 日本看護学会論文集: 在宅看護, (45), 47-50. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2015210199>
- 松崎 奈々子, 阿久澤 智恵子, 久保 仁美, 今井 彩, 青柳 千春, 下山 京子他, 金泉 志保美. (2016). 訪問看護ステーションにおける小児の受け入れの現状と課題. 日本小児看護学会誌, 25 (1), 22-28.
- 松澤 明美, 白木 裕子, 連 利博, 竹谷 俊樹, 平澤 明美, 新井 順一. (2016). 茨城県北・県央地域の訪問看護ステーションにおける小児訪問看護の実施状況と課題. 茨城キリスト教大学看護学部紀要, 7 (1), 19-27.
- Meleis, A. I. (2010/2019). 片田範子(監訳). 移行理論と看護 実践、研究、教育. 学研メディカル秀潤社.
- 見藤 隆子, 小玉 香津子, 菱沼 典子 (編). (2003). 看護学辞典(p.597). 日本看護協会出版会.
- 水落 裕美, 藤丸 千尋, 藤田 史恵, 藤好 貴子. (2012). 気管切開管理を必要とする重症心身障害児を養育する母親が在宅での生活を作り上げていくプロセス. 日本小児看護学会誌, 21 (1), 48-55.
- 森 陽子, 大山 裕美子, 廣岡 佳代, 深堀 浩樹. (2016). 新たに訪問看護分野に就労した看護師が訪問看護への移行期に経験した困難とその関連要因. 日本看護管理学会誌, 20 (2), 104-114. <http://search.jamas.or.jp/link/ui/2017129916>
- 村田 優子, 岩脇 陽子, 滝下 幸栄, 江本 厚子. (2021). 医療ニーズの高い小児に対する訪問看護師の在宅ケア実践における困難. 日本看護科学会誌, 41, 915-923. <https://search.jamas.or.jp/link/ui/2022189780>
- 村瀬 喜美子, 中野 悦子, 金井 伸子. (2003). 在宅重症心身障害児(者)の訪問事業の現状からみる訪問看護ニーズ. 日本重症心身障害学会誌, 28 (3), 211-214.
- 中原 淳. (2013). 経験学習の理論的系譜と研究動向. 日本労働研究雑誌. 55 (10) , 6.
- 中原 淳. (2021). 経営学習論 増補新装版 人材育成を科学する, 東京大学出版会. pp123-154.
- 中村 知夫. (2020). 医療的ケア児に対する小児在宅医療の現状と将来像. Organ Biology, 27 (1), 21-30.

- 中村 順子. (2017). これからの訪問看護と在宅ケアの未来 看護教育から考える. 日本在宅ケア学会誌, 20 (2), 12-17.
- 檜原 理恵. (2018). 新卒訪問看護師を採用するために管理者が希望する方策. 日本在宅ケア学会誌, 21 (2), 86-91.
- 檜原 理恵, 谷水 名美. (2020). 病院勤務後の新人訪問看護師が訪問看護への移行期に体験した困難感の様相 1 事例の語りを通して. 四條畷学園大学看護ジャーナル, (4), 13-22.
- 西村 あをい, 田中 学, 原田 博美, 城田 和彦. (2018). 小児在宅医療推進のための多職種連携研修会開催の実施と課題. 東京情報大学研究論集, 22 (1), 171-180.
- 西村 真紀, 北西 史直, 高村 昭輝, 町野 亜古. (2017). 【小児診療"苦手"克服!!-劇的 Before & after】なぜ子どもが苦手? 総合診療医が小児診療に自信をつけるには. 総合診療, 27 (12), 1616-1625.
- 西岡 正子. (2000). 生涯学習の創造 アンドラゴジーの視点から. ナカニシヤ書店. pp120-138.
- 小野 美穂. (2017). 成人教育 (アンドラゴジー), 看護実践に活かす中範囲理論. メヂカルフレンド社. p383-399.
- 大谷 敏子, 中澤 明美. (2013). 配置転換で集中治療室勤務となった看護師の職場適応プロセス. 日本看護学会論文集: 看護管理, (43), 415-418.
- Proctor, E. K., Landsverk, J., Arons, G., Chambers, D., Glisson, C., & Mittman, B. (2009). Implementation research in mental health services: An emerging science with conceptual, methodological, and training challenges. *Administration and Policy in Mental Health and Mental Health Services Research*, 36, 24-34. doi:10.1007/s10488-008-0197-4
- 齊藤 麻子, 林 亮, 川口 千鶴, 小川 典子, 藤尾 祐子, 美ノ谷 新子. (2019). 静岡県東部地区における小児の訪問看護の実態と課題 訪問看護ステーション管理者へのアンケートによる実態調査. 順天堂保健看護研究, 7, 32-39.
- 齊藤 麻子, 林 亮, 川口 千鶴, 小川 典子, 藤尾 祐子, 鈴木 江利子. (2020). 静岡県東部地区における在宅療養児の訪問看護の実態と課題 訪問看護師の語りから. 順天堂保健看護研究, 8, 27-35.
- 佐藤 直子, 岡田 理沙, 小瀬 文彰. (2020). 新卒訪問看護師のプリセプターが経験した困難. 日本在宅看護学会誌, 8 (2), 13-21.

- 沢口 恵. (2013). 在宅生活をしている重症心身障害児の母親による体調に関する判断の構造化. 日本重症心身障害学会誌, 38 (3), 507-514.
- 沢口 恵, 山路 野百合, 大田 えりか, 田村 正徳. (2019). 訪問看護を利用している小児の利用者数と医療的ケアの実態. 日本在宅ケア学会誌, 23 (1), 47-53.
- Schell SF, Luke DA, Schooley MW, et al. (2013). Public health program capacity for sustainability: a new framework. *Implement Sci.* doi:10.1186/1748-5908-8-15.
- 関 睦美, 吉川 峰子. (2014). 小児訪問看護を推進するための課題 A 県における訪問看護ステーションの実態調査から. 日本看護学会論文集: 地域看護, (44), 23-26.
- 支援基礎論研究会編. (2000). 支援学 管理社会をこえて. 東方出版. pp9-47.
- 島田 珠美, 高橋 泉, 上野 まり, 長 秀男, 土橋 隆俊他, 西巻奈美. (2019). 医療的ケア児の受け入れのための出張研修の効果と課題. 日本訪問看護財団 第 25 回(令和元年度)訪問看護等在宅ケア研究助成者報告書.
https://www.jvnf.or.jp/home/wpcontent/uploads/2021/09/2019kenkyujyosei_houkoku.pdf (2022/10/2 閲覧)
- Simpson, E., Butler, M., Al-Somali, S., & Courtney, M. (2006). Guiding the transition of nursing practise from an inpatient to a community-care setting: A saudi arabian experience. *Nursing & Health Sciences*, 8 (2), 120-124.
- 白柿 奈保. (2010). 訪問看護師が実践に向かう気持ちを支える体験 訪問看護ステーションのスタッフナースの語りから. 日本赤十字看護大学紀要, (24), 87-95.
- 杉本 健郎, 河原 直人, 田中 英高, 谷澤 隆邦, 田辺 功, 田村 正徳他, 日本小児科学会倫理委員会. (2008). 超重症心身障害児の医療的ケアの現状と問題点 全国 8 府県のアンケート調査. 日本小児科学会雑誌, 112 (1), 94-101.
- 鈴木 育子, 中嶋 玲子, 重田 みどり, 平野 千秋. (2001). 茨城県における在宅療養小児に対する訪問看護の実態調査の検討. 茨城県臨床医学雑誌, (37), 24-25.
- 高山 良子, 藤田 佐和. (2016). パートナースhip概念の検討 がん患者と家族への活用. 高知女子大学看護学会誌, 41 (2), 1-11.
- 田中 真由子, 入江 安子. (2010). A 県下における小児訪問看護の実態と課題. 訪問看護と介護, 15 (8), 608-613.

田中 美樹, 吉川 未桜, 尾形 由起子, 櫛 直美, 吉田 麻美. (2022). 小児訪問看護における訪問看護師の困難感と同行訪問研修の試み. 福岡県立大学看護学研究紀要, 19, 107-114.

田中 千鶴子, 濱邊 富美子, 俵積田 ゆかり, 菅原 スミ. (2014). 医療的ケアの必要な重症心身障害者とその家族が求める在宅支援 横浜市におけるサービス利用の調査から. 日本重症心身障害学会誌, 39 (3), 405-414.

富安 眞理, 川越 博美. (2005). 病院から在宅へ移行した新人訪問看護師が看護実践への自信を深める要因の検討. 日本看護学教育学会誌, 15 (2), 39-50.

東京都福祉保健局 a. (2013). 東京都訪問看護支援検討委員会報告書; 第4章 訪問看護の人材確保・定着に関する調査.

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kourei//hoken/houkanhoukokusyo.files/4.pdf>
(2023/12/1 閲覧)

東京都福祉保健局 b. (2013). 訪問看護OJTマニュアル: 訪問看護OJTマニュアル 新任訪問看護師の育成と定着のために.

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kourei/hoken/houkan/ojtmanyual.files/OJT-1.pdf> (2023/12/1 閲覧)

東京都福祉保健局 c. (2013). 東京都訪問看護支援検討委員会報告書; 第5章 同行訪問モデル事業の検証を踏まえたOJTマニュアルの作成.

<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kourei//hoken/houkanhoukokusyo.files/5-7.pdf>
(2023/12/1 閲覧)

東京都福祉保健局. (2018). 東京都医療的ケア児訪問看護推進モデル事業について.

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shougai/nichijo/s_shien/moderujigyo.html (2022/9/14 閲覧)

東京都福祉保健局 a. (2022). 東京都医療的ケア児(者)実態調査結果報告書(都民調査) 令和4年7月東京都.

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/shougai/nichijo/s_shien/sonota_ikeaji/ikeaji_chousa.files/0705tomin.pdf (2023/12/2 閲覧)

東京都福祉保健局 b. (2022). 東京都医療的ケア児(者)実態調査結果報告書(事業所) 令和4年7月東京都.

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/shougai/nichijo/s_shien/sonota_ikeaji/ikeaji_ch

ousa.files/0705jigyoku.pdf (2023/12/2 閲覧)

渡辺 裕子, 鈴木和子. (2019). 第3章家族看護過程. 家族看護学 理論と実践 第5版. 日本看護協会出版会. pp.62-80

渡邊 洋子. (2007). 成人教育学の基本原則と提起 職業人教育への示唆. 医学教育. 38(3).151-160.

Willis, Cameron D., et al. (2016). Scaling up complex interventions: insights from a realist synthesis. *Health Research Policy and Systems*, 14(1).

山田 和子, 上野 昌江, 植田 悠紀子. (2000). 訪問看護ステーションにおける小児患者の現状と課題 管理者への調査から. 小児保健研究, 59 (2), 326.

全国訪問看護事業協会. (2010). 平成21年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業 障害児の地域生活への移行を促進するための調査研究事業報告書.

https://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/cyousajigyoku/jiritsushien_project/seika/research_09/ (2022/9/14 閲覧)

全国訪問看護事業協会 アクションプラン2025 評価チーム. (2022). 訪問看護アクションプラン2025の最終評価(案). <https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/evaluation.pdf>

Zurmehly, J. (2007). A qualitative case study review of role transition in community nursing. *Nursing Forum (Hillsdale)*, 42(4), 162-170. doi:10.1111/j.1744-6198.2007.00083.x